



4歳児 友だちが声をかけてくれたら、話をしようよ！知らんぷりは悲しいよ。

まどかちゃん（榎本）とみさこちゃん（村岡）が折り紙をして遊んでいます。折り紙をぐちゃぐちゃにしてしまうみさこちゃん。「折り紙、また使えるから、ぐちゃぐちゃにしたらあかんよ！」と教えてくれたまどかちゃんなのに、知らんぷりをするみさこちゃんです。さて、そこで子どもたちに問いかけてみました。「知らんぷりされたまどかちゃんの気持ちはどうかな。」「嫌な気持ち・・・」「悲しい・・・」と話してくれるひまわり組です。

知らんぷりしないで会話をしながら遊ぶ二人の姿も劇にしてみてもらいました。すると、「嬉しい気持ちになる。」「顔が楽しそう。」と様々な思いに気付いて話してくれました。

友だちとの関係の中で嫌なことがあっても、話をして伝えることは大事なことで、わかっていて聞かれないふりをするのは悲しいね・・・とみんなで話をすることができました。いろいろな気づきがあったようです。



5歳児 「一緒にあそぼう！」

鬼ごっこをしているみさこちゃん（村岡）そこへまどかちゃん（榎本）がきて「鬼ごっこ一緒にしよう！」と声を掛けます。みさこちゃんは「まどかちゃんは入らんといて」「もう私たちやってるから」と言われてしまいました。この劇を見てみんなにどう思ったか尋ねてみると、「なんか悲しい気持ち」「一回言われたら泣きそうになる」「がまんしたらいい」といろんな意見が出ました。どんな風に伝えたら良かったのかみんなで考え、実際どんな伝え方がいいのか子どもたちに参加してもらって劇（ロールプレイ）をしました。「あ～そうか。こんな言い方したら、楽しく遊べるね。」とみんなが気付けるよう劇をしてくれましたよ。心地よい話し方、自分の思いを伝えることの大切さや、表情で人の気持ちを感じることも大事なことも話すことができました。また、「がまんしたらいい」という意見もあったので、『がまん』についても話をしました。話を聞くときは静かにする等の『できる我慢』、悲しい気持ちになったり、困った時は『しなくていい我慢』、そんな時は必ず周りの大人や友だちに話すことも知っていて欲しいと伝えました。

3歳児 友だちと一緒に遊んで、楽しいね。嬉しいね。

りんご組で人気のあそび、粘土をしているまどかちゃん（榎本）とみさこちゃん（村岡）。「一緒に作ろう！」「一緒に数えてみる？」「どうやって作るの？」「教えてくれるの！」などたくさんお話ししながら楽しそうに遊んでいる二人です。

入園して、約2か月が経ちました。大好きなお家の人と離れて過ごす毎日。友だちや先生と一緒に様々なあそびを経験しているりんご組の子どもたちです。

いいことばかりではなく、喧嘩することもあるだろうし、嫌な思いをすることもこれからたくさんあると思います。でも友だちの存在の大きさや大切さ、友だちが横にいることの嬉しさや幸せな気持ちを私たちは伝えたくて、劇をしました。感じてくれると嬉しいなと思います。にこにこ笑顔で劇をみてくれ、あったかい雰囲気話で話を聞いてくれました。



様々な生活経験の中で他者の思いに触れる機会がありますが伝わりにくいこともあります。今回、劇を通して子どもたちなりに自分の考えを伝えたり友だちの思いに気付いたり、思いを行動にうつすことができればいいなと願い取り組みました。これからも「なかよしデー」だけでなく、日々の生活の中でいろいろなことに気づき考えていける機会をもち、一人ひとりが大切にされている実感をもてるような取り組みをしていきたいと思っています。子どもは身近にいる大人の影響を大きく受けます。私たち大人の声掛けや行動も大切にしていきたいですね。

